

NEWS RELEASE

平成 29 年 6 月 14 日
株式会社東北地質センター

岩手県のボーリング工事企業では初 SEP 台船を導入しました 増加する水上ボーリングニーズに対応、5 月末より本格稼働開始

株式会社東北地質センター(代表：田村元伸、所在地：岩手県北上市)では、海上・河川など水上の足場の悪いエリアのボーリング作業を行う SEP 台船(セップ：自己昇降式作業台船)を岩手県内の同業者としては初めて導入し、ニーズの高まる水上ボーリング調査事業の拡大を致します。



SEP 台船(セップ：自己昇降式作業台船)とはプラットフォーム(台船)と昇降用脚をもち、プラットフォームを海面上に上昇させてボーリング等の作業を行う台船です。プラットフォームを波浪の届かない高さまで上昇させて保持することにより、風や波浪による本船の動揺をなくすることで高波浪海域などでの稼働を可能とし作業効率および施工精度を高めかつ安全に行う設備です。

株式会社東北地質センターでは、地上のみならず、海上や水上での足場仮設、フロート足場等、足場の悪い場所でのボーリング調査を強みとしております。しかし、これまでは自社にて SEP 台船を持たないことにより、水上ボーリングニーズに対して機動力とコスト面での競争力に課題を持っておりました。今回、SEP 台船の自社導入によりこれまでの課題を解消し、技術面の強みをさらに強化することが期待されます。

現在、岩手県はもとより、東北で地質調査やボーリング作業を行う企業が数多くある中で SEP 台船を自社導入している企業は数社と限られております。この機会を十分に活用し更なる東北の発展、環境整備に尽力して参ります。

【本件に関するお問い合わせ先】

・株式会社東北地質センター 担当：田村

Tel：0197-66-6575 Fax：0197-66-6574 E-mail：tamura-no@jc-grp.com

資料



今後の海上事業の発展や社員一同の安全を祈願し、安全祈願祭を5月22日に開催。

多くのお取引様にご来社頂きました。またSEP台船(自己昇降式作業台船)の導入で様々な現場にて活躍し、東北の発展に貢献して参ります。

■株式会社東北地質センターについて

日本列島は数多くの断層により、地下水・温泉・地熱などの地下資源が豊富に存在するとともに、地震・津波・火山活動・地すべりなど多くの変動を重ねた歴史があります。

このような複雑な地質状況の下で土質・地質・岩盤調査・地表地質踏査等の事業を通して、安心・安全な社会づくりに貢献していくことが私たちの使命であると考えています。



<写真> 田村 元伸社長

【会社概要】

- 社名 : 株式会社東北地質センター
- 代表 : 代表取締役社長 田村 元伸
- 本社 : 岩手県北上市村崎野 15 地割 207-20
- H P : <http://tohoku-cc.com>
- 設立 : 平成元年 10 月
- 資本金 : 1,000 万円
- 事業内容 : 土質・地質調査、モルルール架設、集排水ボーリング、他